

(2) 千曲市の林業施策について

1. 民有林整備（H26 予算 3,798 千円）

千曲市では、国県の方針に即し「千曲市森林整備計画」を策定し事業を行っております。林業を取り巻く情勢が厳しい中で森林整備を推進していくには、国県による補助金を最大限活用させていただくとともに、多様な政策のなかで県にご協力いただきながら、地域の実情にあった施策を導入し、区有林・個人有林等の整備を図っていく必要があります。

また、市が事業主体ではない事業についても、県・森林組合・自治会・林業関係団体と連携をとりながら、事業が円滑に進むよう各種集会の参加や情報提供など、側面的な支援も行っております。

個人有林の所有状況は、ほとんどが 1ha 未満の零細な所有が多く、効率的な施業を行うための団地化を図る上での障害となっています。山林への関心が薄れる中で不在地主の存在や、世代交代の進展に伴い所有する山林の場所が分からない所有者も増加しており、境界だけでなく山林の位置すら特定できないケースもあります。

平成 20 年度より導入された「長野県森林づくり県民税（森林税）」が、本年度より更に 5 年間延長されたことを受け、市ではそれを活用した事業の推進に努めてまいります。

①地域で進める里山集約化事業（県[森林税]10/10）

里山における小規模個人有林、不在地主所有林等の森林整備を進めるため、地域が主体となった森林整備計画づくりや計画区域内の森林所有者からの施業同意を得るなど条件整備のための活動に対して助成するもの。

事業実施主体は区・自治会、その中に設置されている森林委員会などの森林関係の組織、森林所有者で構成する協議会、森林組合、林業事業体など

NPO 法人千曲の森

H20 年度 85.5ha H21 年度 25.0ha H22 年度 53.7ha H23 年度 55.0ha
H24 年度 50.0ha H25 年度 46.7ha H26 年度 33.4ha 合計 349.3ha

②森林づくり推進支援金活用事業補助金（県[森林税]10/10 以内）

市民による森林づくり推進支援金活用事業実施に要する経費に対し補助金を交付。

※森林づくり推進支援金

地域における住民の意向や実情に精通している市町村との連携により、きめ細かな森林づくり活動の取り組みを支援するため、市町村が独自性と創意工夫により事業展開するための経費に対して支援するもの。

①里山景観整備事業 13 件（区・自治会、営林組合等を対象） 780 千円

野生鳥獣被害防止の効果及び地域の景観向上が必要とされる山裾の荒廃地や過去 10 年間森林造成事業等の補助金の交付を受けていない山林などにおける竹林整備（概ね 0.1ha 以上）、下刈・除伐・保育間伐（概ね 0.5ha 以上）など必要とされる施業に対し補助。

対象者は

- ・ 林業経営者又は林業関係業種に従事しているもので構成された団体
- ・ 地域の森林、林業に関心があり、5 人以上の者が共同で事業を実践する目的を持って組織され、市長が適当と認める団体
- ・ 区、自治会などの自治会組織

補助額は、事業に要した労務費 1 人 1 日 6,000 円。

赤松伐採の場合は、ビニール被覆用の資材費も対象。1地区6万円を限度。

区・自治会、営林組合等

H20年度6団体3.8ha、H21年度11団体12.6ha、H22年度10団体16.8ha、H23年度12団体15.01ha
H24年度9団体14.3ha H25年度12団体21.1ha 合計50団体83.61ha
H26年度11団体5.6ha/614,000円の予定

②協働による森林づくり事業（H24までは森林体験活動支援事業）

2件（一般市民及び小中高等学校の児童生徒を対象） 200千円

一般市民及び小中高等学校の児童生徒を対象とした森林づくり活動（植樹・育樹活動、測量・測樹、森林調査等）に対し補助。

事業に要した経費（食糧費及び3万円以上の備品は除く。）10/10以内。
ただし、1団体年10万円を限度。

H20年度2団体135人 H21年度3団体80人 H22年度3団体84人 H23年度4団体206人
H24年度3団体116人 H25年度2団体53人 合計17団体674人
H26年度4団体124人 366,000円予定

③千曲市森林整備事業補助金（県[森林税]10/10以内）

千曲市に住所を有する個人及び営林組合等に対し、森林のもつ公益的機能の増進を図るため、山林所有者等が行う森林整備事業に要する経費に対し補助。

国・県の補助金だけでは事業経費を賄えないものに対し、市より嵩上げ補助を行う。平成26年度より、病虫害対策のための更新伐についても補助基準を設けた。

長野森林組合

H20年度33.77ha H21年度89.57ha H22年度189.32ha H23年度87.74ha
H24年度132.00ha H25年度20.00ha 合計552.40ha
H26年度20.00ha/2,212,000円予定

2. 市有林管理（H26予算30,360千円）

千曲市の市有林のうち直営林は1,630haあり「千曲市森林整備計画」に基づき5年毎に施業計画を立て計画的な施業を行っています。木材資源として成熟期にある40年生～60年生の木が大半を占めており、間伐施業が中心となっています。平成21年度までは、市有林作業員を直接雇用し保育施業を行ってきましたが、その後は業者委託による搬出間伐を中心に施業を進めており、平成24年度からは市有林作業員を完全に廃止し業者委託のみとなりました。

市有林内の保安林については県の治山事業により施業を行っています。境界の確認および保守、林地の状況把握など市有林の管理については、NPO法人千曲の森に委託し定期的な巡視を行っています。市有林は、市の財産という側面だけでなく、森林の持つ公益的機能を果たす上でも重要であり、「みんなで育てる協働の森づくり（植樹祭・育樹祭）」など森林・林業に対する市民啓発の場所としても利用されています。

また、県が仲人役となり企業やNPO法人等（里親）と市（里子）が里親契約を行い、里親から提供していただいた資金・労力により森林整備を行う、森林（もり）の里親促進事業により、千曲市では2件の契約が成立し整備が進んでいます。なお、太洋基礎工業（株）については、今年度で契約期間満了となりましたが、さらに3年間の契約更新が行われました。

太洋基礎工業株式会社

契約期間：平成23年10月24日～平成26年10月23日（3年間）

平成 26 年 11 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日まで契約更新(市報 1 月号掲載)
契約内容：資金提供 150 万円 (50 万円を 3 ヶ年提供) 契約更新後 90 万円
事業内容：信濃路自然歩道聖高原ルート整備

NPO 法人千曲の森

契約期間：平成 24 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日 (5 年間)

契約内容：労力提供

事業内容：市民等の協働により権平の市有林で森林整備を行い、市民の森林整備の理解と参加の促進を図る。森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業を活用。

平成 25 年 11 月 23 日 (土)「権平の森」現地見学会と植樹作業実施。

平成 26 年 11 月 8 日 (土)「ブナの巨木」現地見学会と植樹作業実施

- ・ 市有林巡視業務 607 千円
- ・ 市有林境界整備業務 500 千円 (桑原地区市有林 横手山・佐野山・古屋 L=1,640m)
- ・ 市有林支障木等伐採処理委託 2,000 千円
- ・ 市有林整備事業委託 23,217 千円 (森鏡台山搬出間伐 22.95ha)
搬出間伐委託、除伐等委託、枝打ち等保育作業委託、森林の里親森林整備委託
- ・ 市有林貸付料の徴収支払事務

3. 森林病虫害対策 (H26 予算 53,253 千円)

松くい虫による松枯れ被害はここ数年増加傾向にあり、森林の保全、景観維持の観点から防除対策は極めて重要です。千曲市では、対策として有人ヘリコプターによる空中薬剤散布、動力噴霧器による地上薬剤散布、被害木を伐倒し薫蒸処理する伐倒駆除や、今年度から伐倒した被害木をチップ化し火力発電用の木質バイオマス燃料として被害木の有効活用を行っています。

空中薬剤散布は、重要な松林を守るための有効な対策の一つではありますが、人の健康に影響を及ぼすことがあってはならないという基本的な考えに基づき、「松くい虫防除のための農薬の空中散布の今後のあり方 (H23.11 月)」及びそれを受けて改正された「長野県防除実施基準 (H24.4 月)」に添い、説明会の開催や周知の徹底等のリスクコミュニケーションを行い、散布は早朝に行うとともに、風速の制限や生活圏から一定の距離を確保するなど、安全性に配慮した方法で周辺住民等の健康への影響のリスクを最大限低減しながら実施しています。その結果、本年も市内の方で健康被害を訴えた方はおらず、安全確認調査の結果は、すべての地点で農薬成分であるチアクロプリドは定量下限値 ($0.2\mu\text{g}/\text{m}^3$) 未満でした。

また、伐倒駆除は被害量に応じて行ってきましたが、ここ数年の被害量の急増により駆除が追いつかない状況で、まだ被害が蔓延してなく駆除が効果的に行える地区に絞って駆除を行っています。昨年度は、当初 1300 m^3 の予定に対し 2105 m^3 の実績となり、今年度は当初 2000 m^3 の予定に対し、9 月補正を合わせ 1,767 m^3 を発注済みです。なお、集団的に枯れた場所については、次年度以降、林業事業者が県の補助を受けて実施する森林造成事業更新伐に対する嵩上げ補助を検討しています。また、保安林指定地内における集団的な松枯れ被害については、県の治山事業として対策をするよう要望を挙げています。

県内で問題となっているカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害については、現在のところ千曲市では確認されておりません。昨年度、大池地区で一部集団的にカラマツの立ち枯れがみられ、調査の結果、カラマツヤツバキクイムシが原因と分かりました。間伐による残置材が原因とのことでしたが、被害の拡大はありません。本年 6 月には、羽尾地区の一部の森林で、広範囲にカラマツの葉が遠目に赤茶色に見える現象があり、調査の結果マイマイガの大量発生による食害と判明しました。成木は通常枯れることはありませんが、10 年周期で

大量発生し、2～3年継続する傾向があるようですので、今後注意深く監視してまいります。

松くい虫防除対策事業

- ・ **薬剤散布委託**(空中散布、地上散布) ㊦7,657千円(国庫補助3/4以内)

①空中散布

実施面積：125ha(更埴地区45ha、戸倉地区35ha、上山田地区45ha)

使用薬剤：エコワン3フロアブル(農林水産省登録第20897号)

散布量：30ℓ/ha(7.5倍希釈 薬剤40)

散布方法：有人ヘリコプター

②地上散布

実施面積：0.30ha(大字上山田字城山地区)

使用薬剤：エコワン3フロアブル(農林水産省登録第20897号)

散布量：1,200ℓ/ha(200倍希釈 薬剤60)

散布方法：動力噴霧器(スパウダー)

- ・ **被害木伐倒駆除委託** 47,000千円(当初40,000+9月補正7,000)

被害木を伐採、玉切り後、現地に集積し、生分解シートで覆い、薬剤薫蒸処理する。

使用薬剤：NCS剤(カーバム剤)

松林健全化推進事業 565 m³(国庫補助5/10以内)

保全松林緊急保護整備事業(衛生伐) 1,101 m³(国庫補助7/10以内)

市単独事業 1 m³(国庫補助なし)

被害木を破砕機でチップ化し木質バイオマス燃料として処理する。

保全松林緊急保護整備事業(衛生伐) 100 m³(国庫補助7/10以内)

- ・ **安全確認調査委託** ㊦2,691千円(国庫補助3/4以内) 農薬成分測定調査7箇所56検体

変更点 分析方法 ガスクロマトグラフ質量分析→高速液体クロマトグラフに変更

- ・ **㊦枯損木調査の実施** 上山田地区において、薬剤散布区域の松林と薬剤散布区域外の松林のうち各100本にマーキングを行い、今後の松枯れの発生状況等の追跡調査を行う。

4. 緑化推進(H26予算2,025千円)

環境教育及び緑化推進事業として、「みんなで育てる協働の森づくり」を中心に事業を行っています。春の植樹祭、秋の育樹祭、園児がどんぐりから苗を育てるどんぐり大作戦など、林業関係団体、区長会連合会など市内各種団体、小学校等の協力による森林体験活動を主な内容とする事業です。こうした活動は、市民等に森林の持つ役割や機能の大切さを理解していただくとともに、林業への関心を高めるために重要なことですので、今後も継続的に取り組む必要があります。

「みんなで育てる協働の森づくり」事業費

- ・ 苗木代、仮設トイレ借上げ、とん汁等材料費
- ・ 地拵え委託費、森林体験・木育活動等委託費、手直し作業委託費

植樹祭 5月10日(土) 午前9時30分～午後3時30分(大池市民の森)

市で用意した県内産広葉樹1,300本の苗木を、運営協力団体の指導を受け植樹した。537名参加。

昼食時にとん汁と間伐材で作られたカート缶のお茶を提供。

午後は小学生を中心に木育活動として、飾り棚や桑材の箸づくりなどの木工、薪割体験、ポイントをクリアしながら森の中を進むアドベンチャーゲームや薪積みリレーなどを行った。

育樹祭 10月11日(土) 午前9時30分～午後3時30分(大池市民の森)

春に植樹した県産広葉樹1,300本の苗木の雪害対策・下草刈の誤伐防止のため、添え木(支柱)を立てて、麻ひもで結び、上部にピンクテープを結ぶ作業を運営協力団体の指導を受け実施した。173名参加。

昼食時にイノシシ汁と間伐材で作られたカート缶のお茶を提供。

午後は市民の森感謝祭として、小物掛け作りの木工、薪割体験、アドベンチャーゲームや薪運びリレーを楽しんだ。

どんぐり大作戦 稲荷山保育園：10月29日(水)・桑原保育園：10月31日(金) 午前9時30分～11時

ポリポットの穴をふさぐために葉っぱを敷き、土を8割ほど入れる。真ん中にどんぐりを横にして置き、土をポットのふちまで平らに入れる。1人2ポットを作ったら育苗カゴに並べた。園児125名参加。

また、市林業研究グループの協力を得て、園児たちに篠竹を利用して作ったウグイス笛キットをプレゼントした。

あんず保育園・埴生保育園は、約1年半園内で育てたどんぐりを春の植樹祭で植樹した。

㊦「信州山の日」制定記念イベント：7月27日(日)

観光課と共同で、「姨捨の棚田」～「大池市民の森」までのハイキングを企画した。スタッフ含め約30名参加したが、残念ながら栃窪池手前で天候が悪化し、急遽ハイキングを取りやめ、大池で休憩後解散した。

5. 野生鳥獣保護管理対策(H26 予算477千円)

鳥獣保護法に基づき、県の鳥獣保護員と連携し市内の野生鳥獣の保護に努めています。

また、県からの委任事務として、特定の野生鳥獣の捕獲について許認可の事務を行います。最近、山の手入れ不足や荒廃農地、空き家放置件数の増加に伴い、野生鳥獣の出没や農作物への被害が深刻化しています。市有害鳥獣駆除対策協議会や市猟友会と連携しながら有害鳥獣捕獲をしています。年々市民からの問い合わせや被害は増加しています。平成24年度から狩猟免許を所持していなくても、被害者自身の敷地内であれば条件付きで有害獣の捕獲ができることとなったことから、今年度より有害獣捕獲用箱わなの市民への貸出しも開始し、住民自身による有害獣捕獲も進められています。最近の傾向としては、市内において、使われなくなった物置等も含め、空き家が増加しており、そこに小型の野生鳥獣が住み着くことによって、近隣の住宅地、農地等へ出没するケースが目立ち、被害が深刻化しています。また、個体数が短期間に激増していて、個人や行政だけの対応では困難な面もあり、各地区で協議会を設置し、防護柵などの対策を講じている集落が増えてきました。山には昔から鳥獣等があり、生物多様性保全は森林の持つ公益的機能の代表的なものでもあります。人と動物が良い形で共存できるよう市民の意識を高めていくことが求められています。

・鳥獣出没通報対応(4月～12月)

ツキノワグマ 11件・イノシシ 12件・カモシカ 6件・ニホンジカ 1件・
タヌキ 7件・キツネ 3件・ハクビシン 7件・マガモ 1件・ムクドリ 1件

- ・鳥獣捕獲許可（4月～12月） 計 22 件
 - イノシシ 155 頭（83 頭） カッコ内は捕獲許可数のうち捕獲数
 - ニホンジカ 150 頭（34 頭）
 - タヌキ 35 頭（10 頭）
 - キツネ 23 頭（0 頭）
 - アナグマ 20 頭（0 頭）
 - ハクビシン 116 頭（15 頭）
 - カルガモ 100 羽（48 羽）
 - キジバト 300 羽（167 羽）
 - ヒヨドリ 1000 羽（316 羽）
 - スズメ 2000 羽（583 羽）
 - ムクドリ 800 羽（264 羽）
 - カラス 400 羽（230 羽）
 - ドバト 400 羽（125 羽）
- ・カモシカの個体数調整（2月下旬予定） 407 千円
- ・ツキノワグマ対策（注意看板の設置等） 県への捕獲許可申請 2 件（うち捕獲 0 頭）

- ・有害獣捕獲箱わな貸出件数（4月～12月） 70 千円
 - 市民貸出件数 16 件（うち捕獲 ハクビシン 5 頭）

6. 林道管理（H26 予算 46,853 千円）

市が管理している林道は 41 路線・約 80km、作業道は 23 路線・約 20km あります。主要路線の維持管理はシルバー人材センターに委託し、清掃、草刈り、パトロールなどを行っています。冬期間は通行止めとなりますが、市西部水道水源管理等のための不動滝線など一部の林道は除雪も実施しています。昨年度の台風被害により崩落した林道冠着山線は、国の災害復旧補助事業を受け、平成 26 年 9 月に復旧工事が完了しました。今年度は林道災害が発生しませんでした。修繕等を含め適切な林道管理を進めています。特に林道路面の洗掘や浸食の多い、佐野山線と中原入線は舗装工事を進めています。

今後も主要路網の管理を徹底するとともに、森林整備にあわせて作業路網の整備を進めていく必要があります。

・林道作業道修繕料	3,000 千円
・林道除雪委託料（不動滝線・更埴大岡線）	584 千円
・林道台帳作成（久露滝線・北山線）	972 千円
・林道等維持管理業務委託（シルバー 4 名）	◎4,311 千円
・林道作業道崩落土砂撤去重機借上げ	2,000 千円
・林道工事（佐野山線・中原入線）	27,900 千円
・林道作業道除草等作業委託	◎ 498 千円

H25 年度の繰越事業

・林道施設災害復旧事業 林道冠着山線工事	◎7,787 千円
----------------------	-----------

7. 市民の森管理（H26 予算 6,768 千円）

都市型機能重視の生活様式が浸透した結果、自然への回帰や余暇利用による家族のふれあ

いの場を求める市民の声に応え、大池市民の森を整備してきました。自然の恵みの大切さ等を体験しながら学べる森林及び大池森林総合施設を管理しています。

- ・指定管理委託 (株)森選組 4,000 千円
- ・施設修繕料 2,300 千円
- ・保守点検委託

8. 森のエネルギー推進 (H26 予算 500 千円)

地球温暖化防止に寄与するため、木質バイオマス（ペレット・薪）を活用したストーブ、ボイラーの普及を促進し、里山資源の有効活用を図るものです。ペレットストーブ又はボイラーは県の森のエネルギー推進事業補助金（10/10 以内）を活用し、薪ストーブは市の単独事業として実施しています。

- ・設置補助金 ペレットストーブ又はボイラー (100,000 円) 3 台〔現在 4 台〕
薪ストーブ (10,000 円) 20 台〔現在 1 台〕

9. 治山事業 (H26 予算 536 千円)

千曲市の森林約 6,779ha のうち、23.7%にあたる 1,608ha が保安林に指定されており、水源涵養や、土砂流出防備などの機能を果たしています。これら機能の維持・向上を図るために、県において各種の治山事業を実施しております。こうした事業が円滑に進むことができるよう、住民からの要望等につきましては、県との協議や調整を行っています。また、補完的な軽微な事業につきましては、県と調整した上で、市において予算化し、下記内容の事業を行っております。

谷止工飽和土の浚渫（当初予算 400 千円・9 月補正 1500 千円）4 箇所 1367 千円

保安林内の治山事業の県への要望 16 箇所

うち 2 箇所事業化 倉科石杭地区の山地災害総合減災対策治山事業
森大洞地区の保育治山事業

保安林指定地申請予定 2 箇所（桑原小坂東地区・小島東山地区）

10. その他

- ・若宮、羽尾、須坂、上徳間、内川、千本柳財産区議会の運営事務、財産区有林の管理
- ・聖高原樺平保健休養地管理組合、千曲市猟友会の運営事務
- ・官行造林地の契約期間満了後の対応について

現在千曲市有林内において、約 159ha の分収契約した官行造林地があり、平成 26 年度末で、契約期間満了となります。本来ならば国で植林した木を伐採して、収益を国と市で半分ずつ分け合うことが原則であります。木材価格の低迷等により収益もあまり期待できず、また伐採後は市で植栽しなければならないため、多額の造林費用が必要となることから、市で買い取る方向で調整中です。当面、買い取りのための立木調査に期間を要することから、3 年間の契約延長を行う方向で進めています。